

海色少女に魅せられた
男の物語

タスクオルタ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

野間士道は小さい頃東京へ引越してきた。そして隣の和風で大きい家に両親と挨拶に行つた際にある少女に恋に落ちた。

十数年後、幼馴染みの女の子3人とは別の高校へ進学した士道のもとに音ノ木坂学院の理事長から共学化テスト生として編入してほしいと頼まれる。

何故共学化するのか分からなかった士道は、編入初日である始業式に音ノ木坂が廃校の危機に瀕していることを知る。学校を廃校から救うべく幼馴染みの園田海未や高坂穂乃果、南ことりとともにスクールアイドルを結成する。

これは9人の女神とその中の一人に魅せられた男の物語である。

目次

オリ主設定

1

オリ主設定

野間士道（のま しどう）

本作品のオリ主

学年↓高校2年

身長↓175cm

体重↓65kg

髪色↓海未と同じ青混じりの黒

一人称↓僕（幼少期）、俺（中学以降）

家族↓士道と両親の3人家族

誕生日↓（海未ちゃんと同じ）3月15日

趣味↓アニメ、ゲーム、音楽全般、登山

好きな食べ物↓ほむまん

嫌いな食べ物↓アボカド

海未とは家が隣であったため、引越しの挨拶をしに両親とともに園田邸へ行つたとき、海未の母親に隠れるようにこちらを見ていた海未をみて一目惚れした。穂乃果や

ことりと遊ぶようになる前から一緒に遊んでおり、小さい頃は良く園田家か野間家に土道か海未が出向いて食事を共にすることが多く、誕生日が二人とも同じため二人は園田家と野間家の両方に毎年誕生日を祝ってもらっている。

東京へ引越す前は宮城に住んでおり、祖父母が両方とも宮城に居るため気が抜けると東北弁が時折出る。

士道も海未も一人っ子のため、士道は海未のことを実の妹のように可愛がることがしばしばあるが、海未のことが好きであることを悟られないようにするためにやっている。

小さい頃からいつか自分は海未のことが好きだと伝えようと思っているが、「破廉恥です！」と言われて断られてしまったらどうしようとか中々一歩が踏み込めずにいるヘタレ。

ほむまんが好きなのは海未譲り

趣味にある登山は海未が楽しそうにしているのを眺めていると癒されるため一緒に登るから。

音ノ木坂に編入してからは海未や穂乃果、ことりと幼馴染みであるということは海未に変に意識されないようにあまり周りに言わないようにしている。

聴く音楽はアニソンからオーケストラ、ジャズなど幅広い。

中学生の時には海未が書いたポエムを何度も読ませて貰ったことがあり、穂乃果やことりにも内緒で二人だけで曲を作ったことが何度かあり、二人だけの秘密である。

吹奏楽を始めたきっかけは、両親が吹奏楽経験者であったため近くの高校等の定期演奏会を小学生の時に何度も見にいき興味が湧いたため。

音ノ木坂に編入する前の中学や高校ではどちらにも吹奏楽部に所属していた。

担当楽器は中学高校共にユーフォニアム（ユーフォニアムという楽器を知らない人は是非アニメ響けユーフォニアムをご覧ください）

楽器はマイ楽器（学校の楽器ではなく自分で買った楽器のこと）で、中学の入学祝いで両親に買って貰った。

楽器の名前は海未

文化部に所属していたにも関わらず登山の影響もあるのか運動神経抜群で成績優秀、家事も大抵のことは出来るというハイスペック超人。

そのため穂乃果から宿題を写させてほしいと言われることが何度もある。